

豊庄だより



第 664 号 2021 年 6 月 14 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

「しろやぎさんから おてがみついた くろやぎさんたら よ
まずに たべた しかたがないので おてがみ かいだ さっき
の おてがみ ごようじ なあに」まどみちおさんの「やぎさんゆ
うびん」です。まどみちおさんは詩人で、「やぎさんゆうびん」の他にも、「ぞうさん」「一ねんせいにな
ったら」「ふしぎなポケット」「ドロップスのうた」など、誰もが、口ずさみ、口ずさむことで心が豊かに
癒されてゆく作品を数多く残しています。(※「やぎさんゆうびん」は團伊久磨が作曲し、保育士が使用
している楽譜集にも入っています)

そのまどさんの「やぎさんゆうびん」が今、話題になっています。きっかけになったのは、かつて安倍
首相の答弁を「ご飯論法」と名付けた国会ウォッチャーで
もある法政大学教授の上西充子さんのツイートからです。
上西さんは、国会における首相の答弁が、質問を読まずに
食べてしまった「やぎさんゆうびん」みたいだとツイート
し、それを読んだ別の人が「やぎさん答弁」と名付けてく
れたそうです。

問題の「やぎさん答弁」は、5月10日の衆参両院の予算
委員会集中審議で行われました。野党議員が「ステージ3
の感染急増、あるいはステージ4の感染爆発の状況でも東
京オリンピック・パラリンピックを開催されるのです
か？」と質問したところ、首相は「開催にあたっては選手
や大会関係者の感染対策をしっかりと講じ、安心して参加で
きるようにするとともに、国民の健康を守っていく。これ
が開催にあたっての私の基本的な考え方であります」と答
えました。この答弁は、質問と全くかみ合っておりません。
その後、「開催するのか、しないのか？」と何度問うても、
「開催にあたっては・・・」という同じ文句を繰り返しました。

これまでも首相の答弁（記者会見での発言も含めて）は、気になっていました。原稿の棒読み、「答弁
を差し控えさせていただきます」や「承知していない」と応えたり……。そして、とうとう「やぎさん
答弁」と言われるようになってしまいました。

こんな事態をどう考えればよいのか。答える側の姿勢が一番問題であるのは明らかですが、質問する
側も、質問項目を端的に述べて回答を迫ればよいのに、なぜそんなことができないのか不思議になりま
す。また、こうした会議には司会者（議長）がいます。わたしも会議で司会を任されることがあります
が、質問者の質問に提案者がもれなく応えているかを確認しながら進めることを心がけますし、答えに漏れ
があれば、「この点についてが答えてない」と具体的に指摘し、答えてもらいます。こんな会議の「いろ
は」ができない「最高の議決機関」である国会、情けなくなります。

さて、「やぎさんゆうびん」には、2番があるのをご存じですか？今回、『まど・みちお詩集』（ハルキ
文庫）を読み直し、驚きました。2番は、「しろやぎさん」と「くろやぎさん」を入れ替えただけでした。
国会も攻守を入れ替えて議論してみてもはどうでしょう。同じかもしれませんが……。

